

個別事業(取組)評価				
事業No.	32	施策の柱への位置付け	柱④ 心の教育改革	
事業名称	学校図書館活動推進総合事業		担当課	小中学校課
			当初予算額(千円)	3,622
			補正後予算額(千円)	-
		決算額(千円)	2,693	

当初計画		年度末点検・評価	
① 現状(課題)とその要因	【現状】 読書好きな小・中学生の割合は全国平均以上であるが、学校外での読書時間が1日10分未満の割合が小学生で39.7%、中学生で50.7%あり、学校で実施している全校一斉の読書活動が家庭や図書館での読書活動に十分活かされていない。(H22全国学力・学習状況調査より)	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 平成23年度全国学力・学習状況調査の希望利用調査時期が10～11月であったため、当初の現状を示すデータはないが、平成22年度の調査結果とほぼ同様であると判断している。	
	【要因】 ◆ 図書館担当や学校図書館活動についての研修が不十分である。 ◆ 図書資料を活用した各教科等での授業の工夫改善が希薄である。	イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 学校訪問時のヒアリング等を通じて要因を特定している。	

② 目標(Outcome)	◆ 学校図書館活動の活性化を図り、児童生徒の読書習慣を確立することにより、豊かな感性や思考力・表現力を育成する。 ① 各推進校の児童生徒一人当たりの貸出冊数の向上 ② 「きっとある キミの心に ひびく本」や掲載図書の利活用の推進活用率100%	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 学校図書館活動の活性化を図り、児童生徒の読書習慣の確立を目指すうえで、関連のある具体的な目標を設定している。
	【検証(比較)方法】 ① 学校図書館教育推進教諭配置校実態調査 (検証時期:7月・12月) ・児童生徒への貸出冊数及び読書活動に関わる意識について ② 「きっとある キミの心に ひびく本」の活用に関するアンケート (検証時期:1月) ・「きっとある キミの心に ひびく本」掲載図書の授業での活用状況、児童生徒の利用・読書状況に関する調査	エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 学校図書館教育推進教諭配置校実態調査(7月・12月)や「きっとある キミの心に ひびく本」の活用に関するアンケート(1月)の調査結果から、「きっとある キミの心に ひびく本」や掲載図書の活用が進んでおり、当初の目標を達成することができた。 ① 学校図書館活動推進事業推進校での一人当たりの貸出冊数対前年度比向上率(現状維持含む) 55%(7月)→75%(12月) 学校図書館活動推進事業推進校児童生徒の読書肯定率 74.8%(7月)→78.1%(12月) ② 学校図書館活動推進事業推進校での「きっとある キミの心に ひびく本」や掲載図書の活用率 100%(7月・12月) 「きっとある キミの心に ひびく本」掲載図書の公立小・中学校での活用率 100%(1月)

③ 実施内容(Input・Output)	◆ 学校図書館教育推進教諭を加配した学校図書館活動推進校において、学校図書館活動を中核とした学校図書館教育を充実し、その成果を普及する。 ① 「学校図書館担当者スキルアップ講座」等における情報発信 ② 高知県学校図書館活用実践事例集の作成と小中学校への配付及び活用促進 ③ 学校図書館に関わる公開授業研究や、HPでの学校図書館活動に関する実践事例等の紹介による取組公開 ◆ 「きっとある キミの心に ひびく本」の新入生(公立小・中)への配付及び活用の促進 ◆ 高知県わくどき！ショートコメントコンテストの実施 ◆ 児童生徒の読書量や学校図書館を活用した授業の実施状況等、定量的なデータの収集・分析による取組の改善 ◆ 全小・中学校の学校図書館担当者を対象とした「学校図書館担当者スキルアップ講座」の実施	オ 計画通り実施されていたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 学校図書館活動推進校の成果普及 ① 学校図書館担当者スキルアップ講座での情報発信を各会場2名の学校図書館教育推進教諭が行った。(計10名) ② 高知県学校図書館活用実践事例集の作成・配付(3月、特別支援学校を含む公立小中学校に配付) 全推進校の教科等での図書活用事例を掲載 ③ 学校図書館に関わる公開授業研究の実施 6月:宿毛小学校(小5 社会) 9月:宿毛小学校(小4 理科) ◆ 「きっとある キミの心に ひびく本」の新入生への配付(5月) ◆ 高知県わくどき！ショートコメントコンテストの実施 応募総数6024点(小学校5,404点 中学校620点) 表彰式の開催(11/20) ◆ 学校図書館教育推進教諭配置校実態調査(7/12)の結果や推進校訪問時における図書活用授業の現状を把握し、取組を改善 ◆ 「学校図書館担当者スキルアップ講座」の開催 東部地区(6/16) 中部地区:高岡地区(6/13)、土長南国地区(6/21) 西部地区(6/17) 高知市(6/20)
----------------------	--	--

総合評価と今後の方向	目標達成度 B 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/>	【今後の方向】 学校図書館活動のさらなる活性化を図るために、以下の取組を進める。
	【総合評価】 ◆ 特別支援学校を含む公立小・中学校の学校図書館に「きっとある キミの心に ひびく本」掲載図書を整備することができた。 ◆ 掲載図書を活用した取組として実施したショートコメントコンテストには多くの応募があり、読書活動の充実につながる効果的な取組の1つとなった。 ◆ 各学校で、掲載図書や図書資料を活用した授業が行われるようになってきているが、より効果的な活用に向けて、推進校における図書を活用した授業事例や読書活動の充実に向けた取組のさらなる普及が必要である。	◆ 引き続き、学校図書館教育推進教諭を加配した学校図書館活動推進校の研究結果の普及を図る。 ◆ 学校図書館支援員を配置する市町村(組合)に対し財政的な支援を行うとともに、空調設備を設置するなど読書環境の整備を進める。